

魚介類中のPCB検査結果(平成30年度)

平成30年6月と12月に中央卸売市場本場で収去した市内に流通する魚介類9種10検体について、PCBの検査を行いました。その結果、1検体からPCBを検出しました(表)。しかし、検出された値は暫定的規制値以下でした。

表 PCBの検査結果

単位:ppm

食品の種類	検体数	検出件数	結果	暫定的規制値	
遠洋沖合魚介類	トビウオ	1	0	不検出	0.5
	マイワシ	2	0	不検出	
	マサバ	1	0	不検出	
内海内湾魚介類	アカカマス	1	1	0.05	3
	サワラ	1	0	不検出	
	ホウボウ	1	0	不検出	
	マアジ	1	0	不検出	
	マコガレイ	1	0	不検出	
	マツカワガレイ	1	0	不検出	
計	10	1			

(検出限界:0.01ppm)

《10年間のPCB検査結果まとめ》

過去10年間に行ったPCB検査(市内に流通する魚介類47種140検体)の結果を図に示しました。

その結果、9種20検体からPCBが検出され、最も高く検出された検体は平成21年度に検査したブリ(ハマチ)の0.08ppmでした。全ての検体で暫定的規制値を大きく下回る結果でした。

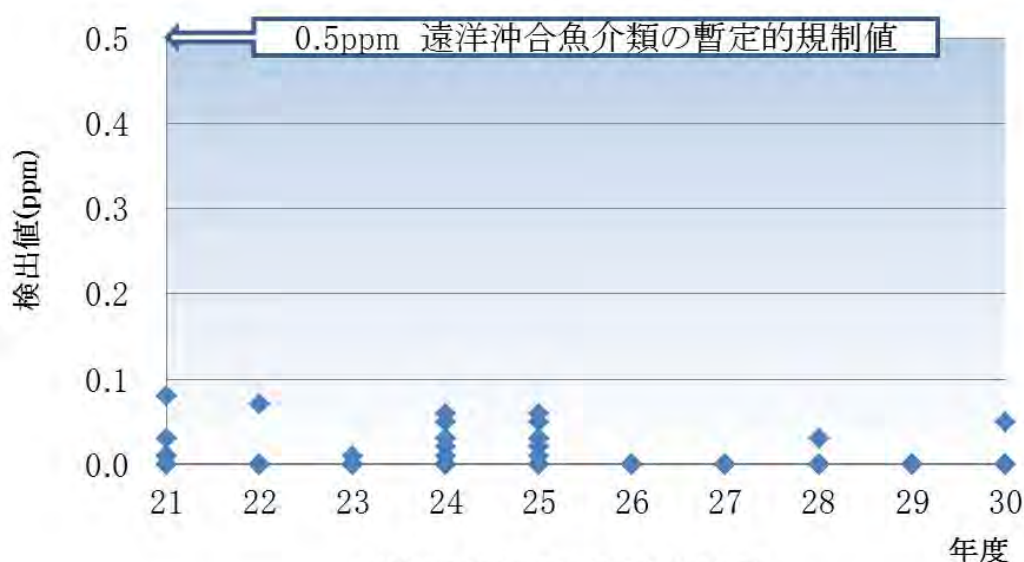


図 10年間のPCB検査結果

【 理化学検査研究課 微量汚染物担当 】